

2021年5月20日

森林環境教育 豊前市立角田小学校 ～校内の樹木観察～

豊前市立角田小学校の4年生9名と一緒に校内に植樹されている木々の樹木観察、木のつくり・効用・特徴などと命の繋がりを一緒に勉強しました。コロナの緊急事態宣言の発出を受け、5年生を外したり、大雨で急きよ、体育館での観察になりましたが、校長先生、東先生(担当主任)の協力を得て、無事に森林環境教育を終えることができました。

最初、人数も少なく笑いもなかったので、日頃、目にするスズメ、カラス、ヒバリの歩き方のクイズから入りました。いつも見ているスズメの歩き方の問いに、皆、首を振りながら「どのように歩いていたかな」と思い浮かべながら、「ピョンピョンと歩いているよ」との回答に、大笑い。少し打ち解けたところで、豊前市の木を紹介し、校内から採取して来た木々を観察会へと移りました。



児童が一番喜んだのは、イロハカエデのヘリコプター付きの種でした。何故ヘリコプターが付いているのかを伝えながら、命をつなぐことの大変さも同時に知ってもらいました。ユリノキのところでは、チューリップに似た花が咲いていたこともあり、皆楽しそうに眺めていました。樹木観察終了後には、常緑樹、落葉樹、針葉樹、広葉樹の違い、木は木材として利用されるだけでなく、食用、薬用にも利用されることを復習しました。



命の繋がりの講和は、生きているアリジゴクを使って、ダンゴムシを食用にする食う・食われるの実演があり、子どもたちもアリジゴクの大きな鎌を見て、命の繋がりを心に留めたようです。

最後に、子どもたちに感想を求めたところ、アリジゴクが楽しかったこともあり、命の繋がりに関する内容が大半でした。また、今日の授業は「自然を大切にしてください」との素晴ら感想をもらって、土砂降りの雨でしたが、すっきりした気持ちで家路につきました。(スタッフ:赤松、中村)

